

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	13	9	15	19	9	25	21 (34)	41
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	42	22	39	43	34	38	33 (42)	44
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	2	0	1	1	2	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	4	6	3	7	5	4	10 (15)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	3	2	5	1	3	7	2 (4)	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	6	4	9	0	7	9	8	5
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	3	5	7	5	1	2	2	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成28年第12週(3月21日~3月27日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9		1		2	2	2	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	デング熱	1			1				
五類全数	1	梅毒	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第12週 3/21~3/27)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり8.14人と、6週連続して減少し、注意報レベル(定点当たり10人)を下回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第12週は報告がありませんでした。

なお、第12週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が68人、B型陽性が105人報告されています。

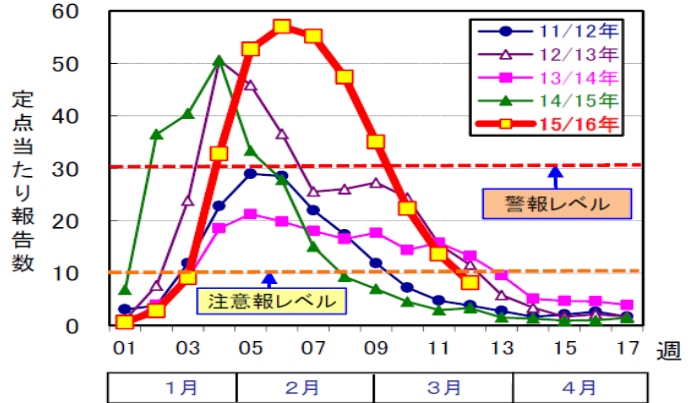
春休み中は、混雑する場所へ出かけるなど、感染機会が増えると考えられます。引き続き、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり8.58人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

なお、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は15人の報告がありました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	301	8.14	9.83	◀	小児科	流行性耳下腺炎	13	0.54	0.49	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.34		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.15	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	1.82	▶		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	206	8.58	8.86	▶	基幹	流行性角結膜炎	2	0.25	0.43	
	水痘	8	0.33	0.93			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	5	0.21	0.24			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	16	0.67	0.12	▶		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11	
	突発性発しん	7	0.29	0.38			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	2	0.08	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14		▶
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.03							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	41	男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	5	女性(20歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1) 咽頭炎	2	女	2016/02/21	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA4型